



Bridgestone Innovation Park
共感から共創へ

2022年4月21日

執行役専務

技術・品質経営分掌・Global CTO

坂野 真人



Bridgestone Innovation Park



私たちブリヂストンは、

2050年へ向けて、サステナブルなソリューションカンパニーへと進化していく。

私たちらしい8つの「E」、私たちらしい8つの価値を、私たちらしいやり方で創出していくことで、持続可能な社会を支えることにコミットしていく。

Energy カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えることにコミットする。

Ecology 持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐことにコミットする。

Efficiency モビリティを支え、オペレーションの生産性を最大化することにコミットする。

Extension 人とモノの移動を止めず、さらにその革新を支えていくことにコミットする。

Economy モビリティとオペレーションの経済価値を最大化することにコミットする。

Emotion 心動かすモビリティ体験を支えることにコミットする。

Ease より安心して心地よいモビリティライフを支えることにコミットする。

Empowerment すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくりにコミットする。

Bridgestone E8 Commitment to Our Future

未来の子供たちからの預かり物であるこの地球のために。ブリヂストンはコミットする。

Bridgestone 1.0 ~ Bridgestone 2.0

Bridgestone 3.0 ~



1960 東京工場設立



1962 技術センター竣工

日本のモータリゼーションへの貢献

平屋建て、工程設計など最新式のモデル工場
工場と研究所が向き合い、協力して良い商品を生み出す

地域と従業員のコミュニティ

社宅、病院など福利厚生施設整備、小学校建設・寄贈

地域の環境、働く人の健康

工場周囲に植樹、排水・排煙・騒音・塵埃対策

Bridgestone Innovation Park

東京小平 再開発ビジョン

「技術の小平」から、
新しい価値を創造し、未来へつなぐ

Bridgestone Innovation Park

B-Innovation

B-Mobility

Bridgestone
Innovation
Gallery

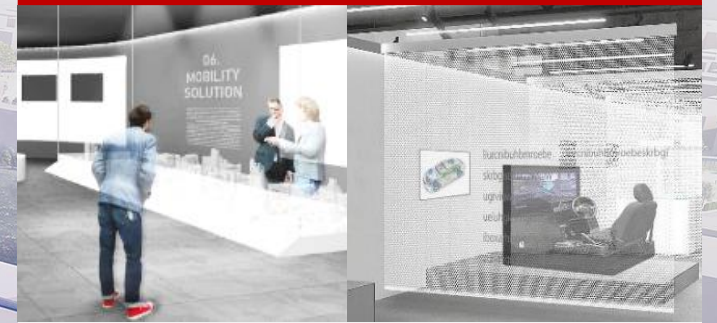
イノベーションを通じて新たな価値を創造するグローバル拠点
共感からスタート、共議・共研・共創へ

共創



親和性の高いパートナーとリアルとデジタルで
価値を実現し、ビジネスを生む

共感



互いの理解を深め、様々なステークホルダーと
シーズ、アイデアなどを模索する

B-Innovation

共研



価値創出に向け
具体的な開発を行う

共議



技術コンセプトやビジネスモデルについて
具体的に意見交換し、共通認識を形成する



B-Mobility



B-Innovation



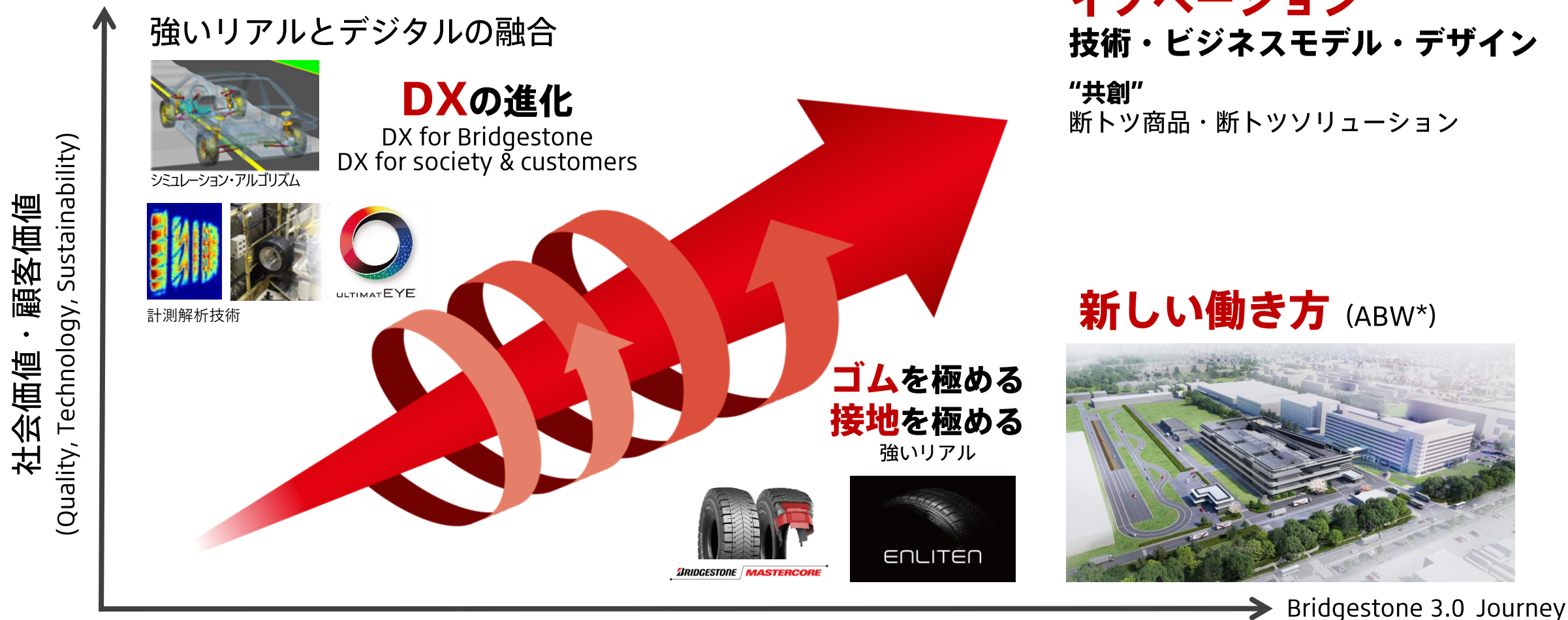
リアルとデジタルを組み合わせることで、
「すぐに形にして、すぐに試す」をくり返すアジャイルな開発が可能に
- 共創により創出されるイノベーションの価値を最大化 -

Bridgestone Innovation Parkを通じて創出するイノベーション

イノベーションの加速に向けて

*ABW = Activity Based Working

*DX= Digital Transformation



イノベーション
技術・ビジネスモデル・デザイン

“共創”
断トツ商品・断トツソリューション

新しい働き方 (ABW*)



共創を通じ、強いリアルとデジタルとの融合 (DX*) と新しい働き方を進め、イノベーションを加速

イノベーションを創出する新しい働き方 (Activity Based Working)

「従業員一人ひとりの“成長と幸せ”」と「ブリヂストンの成長」の両立を目指す組織風土の変革へ

パートナーの皆様と共に、従業員一人ひとりが、いつでも・どこでも・誰とでも、自己の裁量で多様な働き方を自由にデザイン



多様な働き方に対応

リチャージスペースの充実

社外パートナーとの
共創オフィス併設

共研のためのラボ設置、
開発エリアの集約・進化

「すぐに形にして、すぐに試す」

働く場（ハード）と働き方・意識（ソフト）を一体化した変革で、イノベーションを促進

グローバルイノベーション拠点との共創



Digital Garage

技術センター（イタリア・ローマ）

イノベーション連携の中核

Bridgestone Innovation Park

技術センター（東京・小平）



Mobility Lab

技術センター
（米・オハイオ州アクロン）



グローバル中核拠点として、各地域のイノベーション拠点と連携した共創を強化

共感から共創へ

Bridgestone E8 Commitmentを軸とした共創の枠組み

企業コミットメント
Bridgestone E8 Commitment



未来からの信任を得ながら
経営を進める軸

共感から共創へ



コアコンピタンスを結集する“共創”



人類の夢を背負った“共創”



新たな仲間との“共創”



探索事業における“共創”

ブリヂストンのコアコンピタンスを結集する“共創”



エンジニアリングチェーン・バリューチェーン全体を繋ぎ、断トツ商品、断トツソリューションを生む

ブリヂストンのコアコンピタンスを結集する“共創” - タイヤ事業：ENLITENビジネス戦略

EVへの装着に最適なタイヤ基盤技術「ENLITEN」

技術・商品・ビジネスモデルの“ビジネス戦略”として進化
「ENLITENビジネス戦略」 “EV時代の新たなプレミアム”



ENLITEN
BUSINESS STRATEGY

サステナビリティ vs ビジネス成長

タイヤ性能のカスタマイズ vs
バリューチェーン全体の生産性向上 / コスト最適化

二律背反の価値を同時に創出

新たな仲間との共創：ソリューションのグローバル拡大



デジタルフリートソリューションプロバイダー
(2019年買収, @欧州)



Digital Garage



デジタルフリートソリューションプロバイダー
(2021年買収, @米国)



Mobility Lab

Bridgestone
Innovation Park



鋳山ソリューション
(Transense社のiTrackソリューション事業
2020年買収, @豪州)



鋳山ソリューションプロバイダー
(2021年買収, @豪州)

人類の夢を背負った“共創”：「チームジャパン」で挑む国際宇宙探査ミッション

Extension

「チームジャパン」の一員として、人類の夢を背負って過酷な月面環境に挑戦

- 夢と出会うたび、タイヤは進化する -

- どこまでも行こう。 -



月面探査車「Lunar Cruiser（ルナクルーザー）」（2019～2021年度 JAXA-トヨタ自動車共同研究）



鋼の繊維を編み込んだ前代未聞のエアレスタイヤ

探索事業における“共創”

グアユール事業

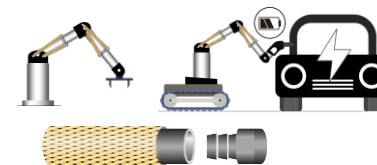
乾燥地帯で育つ「ゴムをつくる植物」
事業化への探索推進



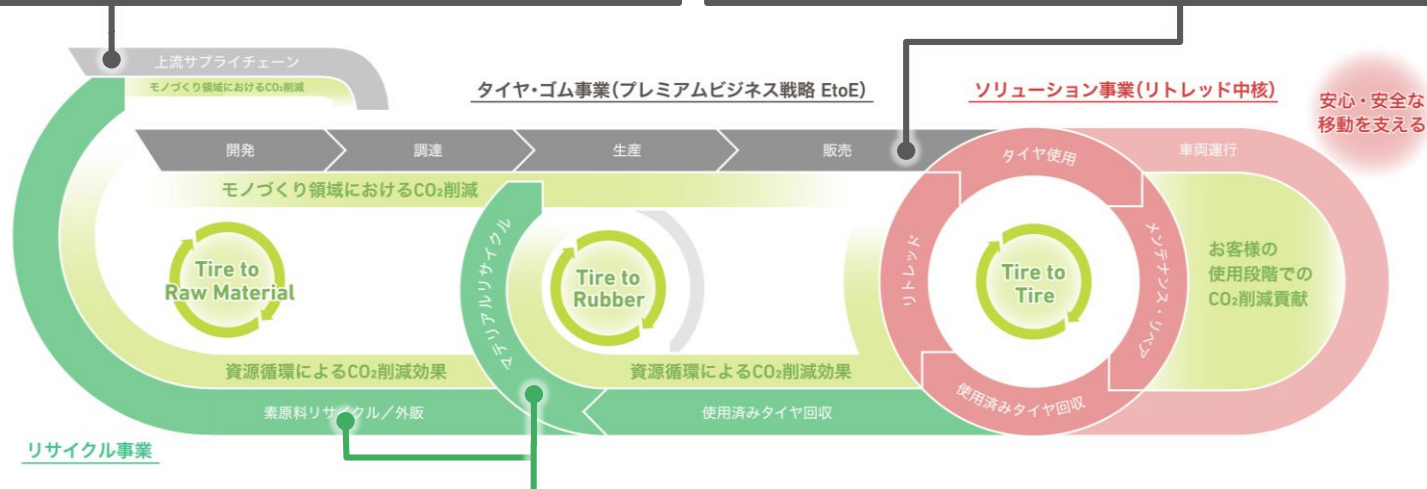
- ・ パートナーとの共創で、米国中心に2026年実用化を目指す

ソフトロボティクス事業

ビジネスモデルの探索推進



- ・ ブリヂストンのコアコンピタンス「ゴムを極める」「接地を極める」を活用
- ・ 共創パートナーの探索を進め、ビジネスモデルの確立を目指す



リサイクル事業

Tire to Rubber & Tire to Raw Material
技術の探索推進

タイヤからオイルへ・化学品へ

- ・ 高品質を担保した、リサイクル事業の確立を目指す
- ・ グローバルで、各地域の特徴・強みを活かしたビジネスモデル確立へパートナーと共創し、エコシステム構築を推進



社会・顧客課題

- 少子高齢化
- 非接触ニーズ (COVID-19影響)
- 作業の自動化



「安心・安全なヒト・モノの移動・動き」
を支える

“いい感じ”にモノをつかむ ソフトロボティクス事業
- ゴムの力ですべての人の生活を支える -



「ゴムを極める」「接地を極める」を活用
コア技術：ラバーアクチュエーター（ゴム人工筋肉）

共創をベースに、ビジネスモデルの確立を目指す

探索事業における“共創”：リサイクル事業

Energy

Ecology

- **マテリアルサーキュラリティの実現へ、**
グローバルでパートナーと共創し、使用済タイヤを原材料に「戻す」リサイクルの事業化を推進

日本

「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして
社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」



「低炭素・循環型社会への貢献」

高機能ゴムなど高分子素材の設計技術
(コアコンピタンス：ゴムを極める)

共創

原油精製技術や基礎化学品製造に関する基盤技術

NEDO[※] グリーンイノベーション基金事業に採択

※NEDO：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

使用済タイヤのケミカルリサイクル技術の社会実装に向けて、2030年までに大規模実証実験を実施、早期事業化を目指す。

米国



LanzaTech

再生資源の普及に向けて、「**使用済タイヤを樹脂 (PET)、ポリエステル糸などの原材料に転換**」を目指す。
更に、使用済タイヤを新品タイヤの原材料へ「戻す」共同開発へ向けた取り組みも視野に入れる。



ブリヂストンのリサイクル事業

使い終わったタイヤ＝「資源」

タイヤを原材料に「戻す」

タイヤの価値が「循環」し続ける社会を創る

タイヤのリサイクルを通じて、
将来世代により良い地球環境を引き継いでいく

共感頂くみなさまと共に



Bridgestone
E8 Commitment
to Our Future



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。